



子どもの成長に欠かせない「砂遊び」の楽しさを気軽に体験！
室内で遊べる「砂遊び」玩具が8月登場
6/11(火)～13(木)、代官山 T-SITE での展示会で国内初披露

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子)は、室内で安全に砂遊びの醍醐味を味わうことのできる新商品「ダンシング・サンド」を全国のボーネルンドショップおよびオンラインショップで8月中旬より販売します。また、6月11日(火)～13日(木)に代官山 T-SITE で開催するボーネルンド・グループ 35 周年展示会にて、新商品「ダンシング・サンド」を日本初公開いたします。



■「ダンシング・サンド」

価 格：¥3,990 (2.5kg スターターキット・税込)

対象年齢：3歳～

メーカー：ワバファン社(スウェーデン)

■ やっぱり「衛生面」が気になる？子どもの「砂遊び」に関する母親の意識を調査

「砂」は、子どもの働きかけによって自在に形を変え、子どもの興味が尽きることのない優れたあそび道具です。砂を用いて遊ぶ「砂遊び」は子どもの創造性を存分に引き出し、手先の巧緻性を高めたり科学的な関心を引き起こしたりするなど、発達に大きな影響を与える、成長に欠かせない遊びです。欧州では多くの幼稚園の教室内に「サンドボックス」を取り入れて室内でも砂遊びができるようにしていますが、日本では残念ながら近年、砂遊びの機会が減少傾向にあるようです。

このたび当社が1歳から5歳の子どもがいる母親を対象に実施した調査では、「子どもに砂遊びをさせたい」と思う母親が7割を超える一方、4割以上の母親が子どもを砂場で遊ばせる頻度が「週に1日未満」ととどまっていることがわかりました。さらに砂遊びを一切「しない」との回答も、8.3%に上りました。「砂遊び」をさせるにあたり困っていることや「砂遊び」をさせたくない理由として、「衛生的に不安」や「手足や服が汚れる」を挙げる母親が目立ち、特に衛生面での心配から、子どもを砂場で遊ばせにくい状況にあることが示唆されました。 ※調査結果の詳細は次頁をご覧ください

衛生面がハードルとなり、「砂遊び」の機会が減少する状況があることを受けて、当社では衛生面を気にすることなく、砂遊びの醍醐味を自宅でも気軽に体験できる新商品「ダンシング・サンド」を導入いたします。粒子の細かいスウェーデン産の砂に特殊な加工を加え、まるで水を含んでいるようなしっとりした触感のもと、自由な造形あそびが可能です。湿ったような状態は半永久的に続き、室内での砂遊びをいつまでも楽しむことができます。

新商品展示会を代官山 T-SITE にて開

この「ダンシング・サンド」を、ボーネルンド・グループ 35 周年展示会「子どもの未来とあそびの未来展」(6/11(火)～13(木)、代官山 T-SITE)にて日本で初めて公開します。展示会詳細については4ページをご覧ください。

【ご参考資料】

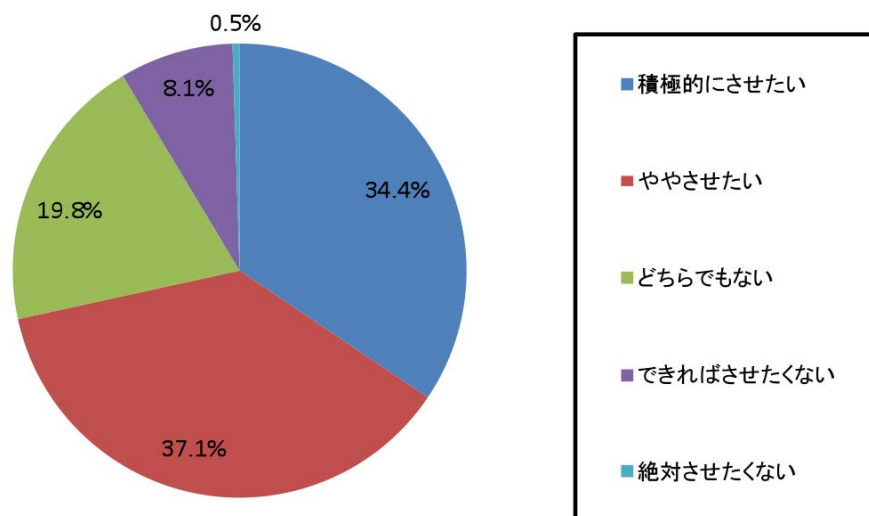
■ **子どもの砂遊びに関する母親の意識調査結果について**

ポーランドでは、現代の子どもの砂遊びに関する実態を掴むことを目的に、5月中旬にインターネット調査を実施しました。

調査地域：全国
調査対象：1歳から5歳の子どもを持つ母親
有効回答数：合計555サンプル
調査時期：2013年5月中旬

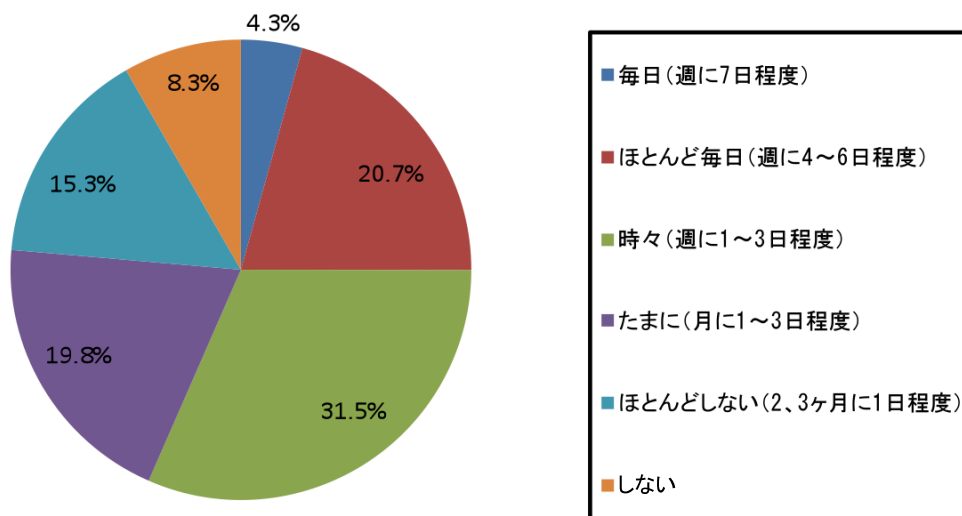
調査結果

Q あなたは、お子さまに『砂遊び』をさせたいと思いますか？(n=555)



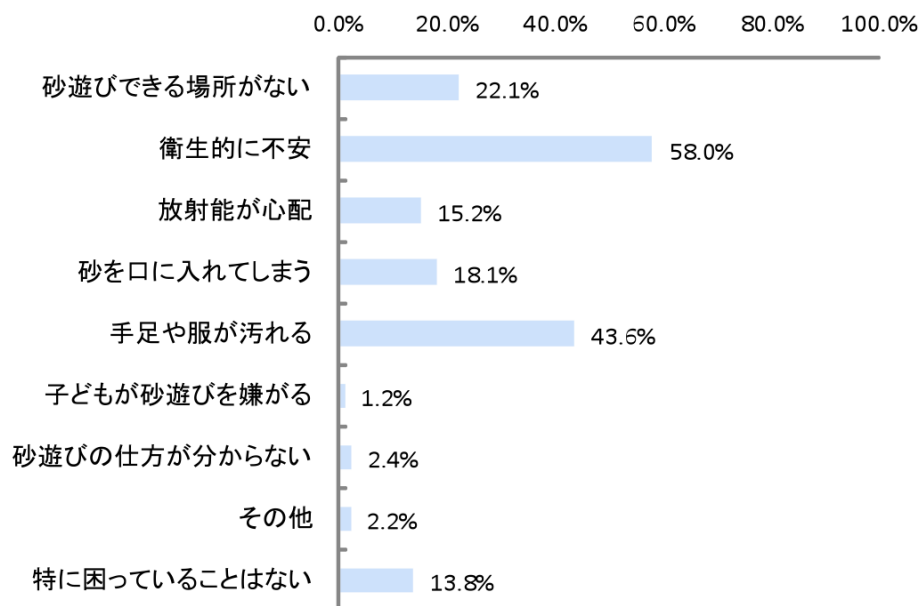
砂遊びに関する母親の意向を尋ねたところ、7割を超える71.5%の母親が砂遊びを「(積極的に/やや)させたい」と回答し、砂遊びを「(積極的に/やや)させたくない」と回答する母親の割合は1割に達しませんでした(8.6%)。

Q あなたのお子さま(1歳～5歳)は、どのくらいの頻度で『砂遊び』をしていますか？(n=555)



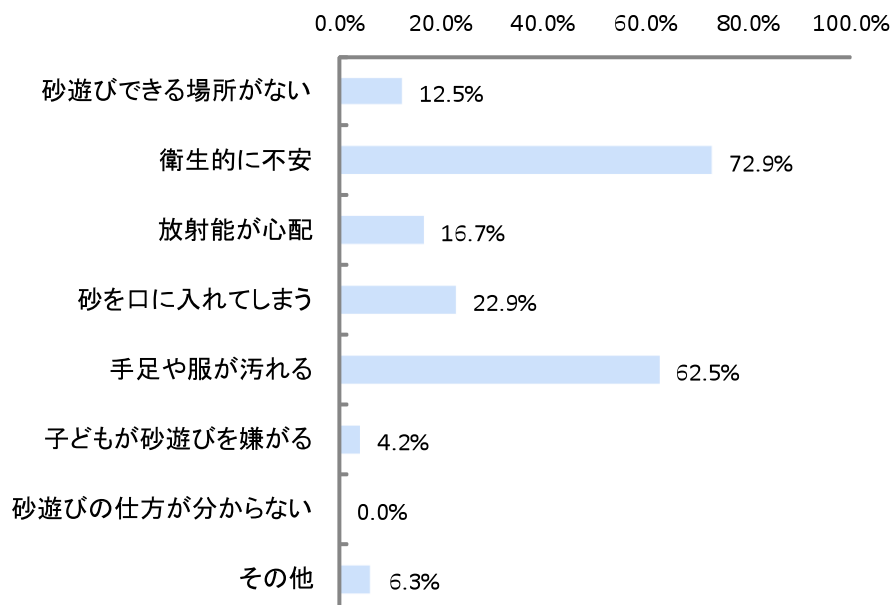
子どもの砂遊びの頻度を尋ねたところ、「週に一日以上」の回答が半数を超えた(56.5%)一方で、「週に1日未満」の回答も43.4%に上りました。また、砂遊びを「しない」と回答した母親も8.3%おり、1割弱の子どもがまったく砂遊びをしていないことが明らかになりました。

Q お子さまの『砂遊び』で、あなたが困っていることは何ですか？（n=507）※複数回答可



子どもに砂遊びを「(積極的に/やや)させたい」と回答した母親に、砂遊びをさせる上で困っていることを尋ねたところ、9割近くの母親(86.2%)が「困っていることがある」と回答しました。具体的な回答では、特に「衛生的に不安」「手足や服が汚れる」の回答が目立ちました。

Q お子さまに『砂遊び』をさせたくない理由は何ですか？（n=48）※複数回答可



子どもに砂遊びを「(積極的に/やや)させたくない」と回答した母親にその理由を尋ねたところ、「衛生的に不安」「手足や服が汚れる」の回答が砂遊びをさせたい母親以上に目立ちました。「衛生的に不安」は7割以上が、「手足や服が汚れる」は6割以上が理由に挙げており、砂遊びをさせたい母親、させたくない母親ともに衛生面での懸念が、砂遊びのハードルとなっている状況が浮かび上がりました。

■ ボーンエルド・グループ 35 周年展示会「子どもの未来とあそびの未来展」について

ボーンエルド・グループ 35 周年を記念した展示会を、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社のご協力の下、代官山 T-SITE にて開催いたします。施設内のいたるところに遊具を設置し、大型運動遊具やトランポリンなどで実際に遊ぶこともできます。これまでの 35 年にわたる遊び環境提案の集大成として、優れたあそびの道具と環境と情報、未来のあそび場のあるべき姿を具体的に提案いたします。また、6 月 11 日(火)、12 日(水)には「子どもとあそび」に関する記念講演も予定しています。

【ボーンエルド・グループ 35 周年展示会「子どもの未来とあそびの未来展」 実施概要】	
日 時:	2013 年 6 月 11 日 (火) ~13 日 (木) 10 時 00 分~18 時 00 分 ※最終日は 17 時 00 分まで
会 場:	代官山 T-SITE (東京都渋谷区猿楽町 16-15)
交 通:	東急東横線 代官山駅より徒歩 5 分
記念講演①:	タイトル:「砂場と子ども」 日時: 6 月 11 日 (火) 13 時 30 分~15 時 00 分 講師: 笠間浩幸先生 (同志社女子大学現代社会学部現代こども学科教授)
記念講演②:	タイトル:「子どもの未来、あそびの未来」 日時: 6 月 12 日 (水) 13 時 30 分~15 時 00 分 講師: 中村和彦先生 (山梨大学教育人間科学部教授)
参加について:	一般の方はご自由に参加いただけます。 報道関係者様のご来場の際は、事前に下記お問い合わせ先までご連絡いただけますと幸いです。

【ボーンエルドについて】

ボーンエルドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 89 カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万カ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国 17 箇所、年間 182 万人の親子が訪れています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》	
株式会社ボーンエルド 広報室 担 当: 讃井、村上 T E L: 03-5785-0860 / 080-5901-3591 E-mail: sanui@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担 当: 古澤、五味渕、山口 T E L: 03-4580-9104 E-mail: bornelund@ml.prap.co.jp
《一般の方のお問い合わせ先 (ご掲載用)》	
株式会社ボーンエルド	TEL: 0120-358-518